

中央会

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

11

2016
November
Vol.661

おかやま

今月の FOCUS

第68回中小企業団体全国大会
開催される ④

先般の鳥取震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

特集 Leader's  リーダース「アイ」

有限会社くま

地域社会人を育て、

地域の宝を次世代に繋ぐ



代表取締役
辻 信行 氏

リーダーズ「アイ」

代表取締役

辻 信行氏

有限会社くま

中央会おかやま

2

地域社会人を育て、地域の宝を次世代に繋ぐ

有限会社くまは、地域資産の歴史ある日本家屋を改装して「三宅商店」や「水辺のカフェ」、「林源十郎商店」を運営し、地元食材を使ったオリジナル商品を展開しています。当会の「岡山ふるさと投資応援事業」を活用し、日本を代表したテニ

ス選手である原田武一氏の生家である「旧原田邸」を、焼き菓子やジャムを作る菓子工房へと改装しました。

■家屋再生を始めたきっかけとは

日本家屋は、経済的価値が見出されなければ、朽ちるのを待つのが現状です。人は、歴史ある建物が姿を消すかもしれない場面に出くわしたとき、「何とかなればいいが」と思うものの、なかなか行動を起こせません。日本家屋からは、木や土を使った匠の技、粋な暮らしが、地域社会の本質や日本らしさなど学べる事が沢山あります。先人の思想や技術、自然との調和を感じられる日本家屋を残し、次世代に繋いでいきたいと考えたことがきっかけです。

かつては、「三宅商店」は日用雑貨屋として、「林源十郎商店」は薬屋として営まれていました。現在はカフェや商業施設となり、多くの方にお越し頂いています。人は『美味しい』『楽しい』という空間があれば、興味を持って足を運びます。実際に家屋に入り、自然や歴史を肌で感じて、そうした地域社会の本質を学んでもらいたいという想いを込めて磨きをかけてきました。

元々小学校教諭として社会に出ましたが、地域社会の本質を地域の方々に伝えていきたいと強く思い、学校という領域

から地域という広い領域へ飛び出しました。弊社の営む店を「へいのない学校」と称して、地域社会の本質を学べるきっかけを作り、地域社会教育を行っています。

■当事業と旧原田邸への想いを教えてください

岡山ふるさと投資応援事業によるクラウドファンディングは、応援して下さる方々から出資が受けられます。そうした資金調達もさることながら、旧原田邸のファン作りが出来る点に大きな魅力を感じています。

ここ旧原田邸のように大きな旧家の維持管理を行う事や、商売を行うため修繕して独立採算の状態にするのは、経済的負担が大きく非常に厳しいと言われていました。しかし、本事業により建物の維持・経済的自立が実現出来れば、日本全国の中心市街地外に存在する地域資産を「仕事」としてみんなで支え、次世代に繋ぐ仕組みが作れます。この旧原田邸は私にとって新しいチャレンジです。

■今後について教えてください

私は、弊社企画の地域を巡るテレビ番組「朝ぶら」にて、倉敷・総社・玉野市の小学校区を12年間歩いて巡り、地域資産に沢山触れて、そして様々な人から歴史を学んできました。そこで養ってきた「地域資産を大切にしなければならぬ」という感覚を皆様へ伝えていくとともに、私自身これからも地域社会の本質を学び続けたいと思います。地域全体での教育を行い、地域社会を大切にする地域社会人を育て、地域の宝を次世代に繋いでいきたいです。



次代を担う若手社員

メニュー・商品開発 橋原 絵美氏

地元素材の美味しさ、お菓子作りの楽しさを伝えていきたい

■業務内容や心掛けを教えてください

弊社の食品部門において、メニューや商品の開発・製造を行っています。以前はパフェやケーキが中心でしたが、現在はジャムや焼き菓子を担当しており、入社して10年が経ちました。

地元素材を活かした商品開発を心掛けているため、商品の装飾は全て手作りで行っています。農家の方々に感謝して手間をかけて作るというこだわりをもって、業務に取り組んでいます。

■やりがいは何ですか

お客様から美味しいという生の声を頂く事ももちろんですが、商品素材の果物等を生産する農家の方々からも満足の声を頂ける事が、大きなやりがいです。素材は全て、農家の方々が心を込めて作って下さったものなので、「美味しいジャムにしてくれてありがとう」と満足して頂ける商品を作れた時は、大変やりがいを感じ、嬉しく思います。

果物は生もののため傷みやすく、まだ食べる上で全く問題ない状態だとしても、お店に並ばないものもあります。それら商品をジャムへ加工し、美味しく出来たら農家の口下率軽減等にも貢献でき、農家の方々の応援にも繋がります。

また、農家の方々のコミュニケーションを通して、作った果物の食べ方や美味しいジャムの作り方を教えてもらえることもあります。時には農家へ何回収穫を手伝う事もあり、皆で協力して地域を盛り上げていることが実感できるところにもやりがいを感じています。



旧原田邸で作ったジャム



旧原田邸の菓子工房

■今後の目標を教えてください

私のお菓子作りの原点は母親でした。現在はわが子と共にお菓子作りを行っています。商品を通して、お客様へ向けた地元素材の美味しさを伝えていくことももちろんですが、親子でお菓子作りを学べる場の環境作りも行っていきたいです。

お菓子作りは材料や道具が揃わないと出来ない等、一見ハードルが高いように感じます。しかし、それさえあれば特別難しいと感じる必要は無く、美味しく食べてもらう事や作る事へのやりがいはとても大きいものです。そうした楽しさを伝えていければと思います。

企業プロフィール



企業名：有限会社くま
 設立：2002年7月18日
 住所：〒710-0801 岡山県倉敷市酒津2829
 TEL：086-435-0280
 FAX：086-435-0290
 事業：家屋再生事業の他、マスキングテープの企画デザイン卸業、出版業等様々な事業を展開している。

第68回中小企業団体全国大会開催される

去る10月19日(水)、いしかわ総合スポーツセンター(石川県金沢市稚日野町北222)にて、第68回中小企業団体全国大会が開催されました。

中小企業団体全国大会は、中小企業者で組織する全国約2万7,000組合等の意見を総意としてとりまとめ、内外に広く表明するとともに、国等に対して中小企業の振興施策の強化を要望し、安定した中小企業の成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的として、毎年開催されています。

当日は、協同組合関係者約2,500名が参加し、「団結は力 見せよう組合の底力!」を大会テーマに掲げ、原点

である「相互扶助の精神」のもと、中小企業者同士が団結の力を再確認することにより、現下の難局を乗り越えることが必要であると、中小企業の結束力を強くアピールしました。また大会決議では、「国内需要の喚起と中小企業の経営力の強化」、「中小企業の実態を踏まえた労働・雇用対策の推進」等の政府に要望する14項目を採択しました。

また大会では優良組合36団体、組合功労者73名、中央会優秀専従者19名の表彰式もあり、岡山県からは組合功労者として左記2名が表彰されました。

(組織支援課 藤田)

◆組合功労者(順不同)

奉還町商店街振興組合

理事長 岸 卓志氏

玉原鉄工業協同組合

理事長 大熊力三氏

〜受賞おめでとう

いちゃごます〜



岡山県外国人技能実習生受入組合協議会 広島方面への日帰りバス旅行を実施

去る9月25日

(日)、岡山県外人技能実習生受入組合協議会では、「秋の味覚『松茸』食べ放題と西日本最大級・秋のダリア祭り」と題して、広島方面の日帰りバス旅行を実施しました。

当日は、協議会会員組合や傘下企業の方々25名が参加され、安芸高田市の湧永満之記念庭園、三次市の三次ワイナリー、世羅郡の世羅高原農場を訪問し、参加された皆さまは広大な庭園内にて花々を愛でながら記念撮影をしたり、ワイナリーにて松茸、シーフード、ジンギスカンに舌鼓を打ったりと、大変楽しんでおられました。

今回のバス旅行は、協議会の福利厚生事業の一環として本年度初めて実施したもので、年度内に技能実習を終え帰国する実習生の労をねぎらい、日本での良い思い出づくりとして頂くこと



を目的に企画しました。

途中、世羅高原農場にて激しい雨が降り出したため、ダリア観賞の時間が無くなってしまい残念でしたが、参加者の皆さんは「3年間を一緒に過ごした仲間や組合の先生方と素敵な思い出を見たり、美味しいジンギスカンを食べたり、ビンゴゲームもできてうれしかった」と満足された様子で、非常に有意義な一日を過ごされたようでした。

(組織支援課 形山)

食品バイヤーとの相談・商談会を開催しました

去る10月12日(水)、岡山県と岡山県中央会は、県内食品関連事業者の売れる食品の開発と販路開拓を支援するため、食品バイヤーとの相談・商談会を開催しました。今回の相談・商談会は単なる商談会ではなく、食品バイヤーの目線からの商品評価を参加事業者にフィードバックし、より売れる商品へブラッシュアップすることを目的としています。

当日は19社の食品事業者が参加し、食品バイヤーは地元岡山からはもちろん、首都圏からもお越しいただきました。食品事業者は、昨年度の相談・商談会にてバイヤーから提案された内容に基づいて新商品など商品PRと努力の成果を報告されました。

相談・商談を終えた事業者の方から

順不同

食品バイヤー 一覧
(株)石原(フードマーケット エコ・ピア)
オイシックス(株)
(株)岡山高島屋
(株)高島屋
(株)天満屋
(株)天満屋ストア
両備ホールディングス(株)



は、「既存商品をもとに今後の商品展開についてアドバイスをもらった」、「新商品の販売手法について話ができた」といったご意見をいただきました。食品バイヤーの方からも「日常においてメーカーと25分も話をする余裕がないので、じっくり話を聞ける良い機会となった」とご感想をいただくなど、事務局側としても嬉しい声が聞かれました。

単なる商談会ではなく、バイヤーと共に企業力を高めていく取り組みを機として、より売れる商品の開発と新たな取引が開始されることが期待されます。

(連携支援課 鈴木)

県内14番目の農商工連携認定を支援

老舗茶類販売店ほんぢ園と総社市の山田営農組合の新たな取り組み



茶類・茶道具の販売店である「株式会社ほんぢ園(以下、ほんぢ園)」と、総社市の73の生産者でつくる「農事組合法人山田営農組合(以下、山田営農組合)」は、山田営農組合が生産する農産物を活用した健康茶シリーズの企画開発・販売に関する計画について、経済産業省・農林水産省により農商工連携の認定を10月14日付けで受けることができました。

今回の連携内容は、近年人気が高まっている健康茶の原材料のほとんどが海外産である現状を踏まえ、岡山県内で農薬を使用せずに栽培した原材料でつくる安全安心な健康茶の販売が主旨となります。シリーズのラインアップは、「タンポポコ珈琲」、「なた豆茶」、「よもぎ茶」、「韃靼そば茶」の4種類で、国産原材料にこだわった健康茶シリーズの企画・販売は全国でも珍しい事例です。

また本連携では、山田営農組合の所有する農地の中で、稲作に不向きであることから休眠状態となっている区画を活用して原材料の栽培を行うため、

農地の有効活用が可能となります。さらに、ほんぢ園は収穫された原材料の全量を買取り、農産物市場の不安定な需要と供給のバランスや天候に左右される収量によって収益が安定しない等の、山田営農組合が抱える課題の解消にもつながります。

今後、栽培方法の改良や商品のブラッシュアップを行い、これまでと同様の店頭による販売の他、インターネットによる販売などの多様な販売戦略を立て、多くの方に手に取ってもらえるような商品となることを期待されます。

(連携支援課 鈴木)

第34回「備前焼まつり」開催

去る10月15日(土)・16日(日)、協同組合岡山県備前焼陶友会は、備前市の備前焼伝統産業会館及びJR伊部駅周辺一帯にて、第34回備前焼まつりを開催致しました。昭和58年から始まった備前焼まつりは、今では2日間で約10万人もの焼物愛好家でにぎわう、日本国内でも有名なまつりとなっております。

備前焼は日本六古窯のひとつで、千年を超える歴史を持つ焼物として全国で高い認知度を誇り、うわぐすりを用いない土本来の良さを活かした、作家の技と炎の融合により生み出される芸術品として、多くの愛好家から親しまれています。

まつり当日は、多くの窯元の工房・ギャラリーが並び「備前焼本通り」など



が歩行者天国となり、県内外から訪れた来場者が陶友会会員の作品を身近に楽しめました。会員全店舗で作家自慢の作品全てが2割引になる他、5,000円以上お買い上げ毎に抽選券が進呈され、人間国宝、岡山県指定重要無形文化財作家の備前焼等が当たるなど、大変お得なイベントも実施されました。また、ろくろ実演や、毎年好評な備前焼小町撮影会、さらに備前焼作家によるコンサートなどの催しも数多く行われ、「まち」をあげた盛り上がりとなりました。

吉村備前市長は「備前市にとって大切な備前焼まつりも今年で34回目。スタッフ一同、大勢の皆様楽しんで頂けるよう、おもてなしをしていきたい」と開会挨拶をされました。

(連携支援課 吉尾)

岡山県中小企業団体青年中央会 創立40周年記念大会開催のお知らせ

岡山県中小企業団体青年中央会は創立40周年の佳節を迎えるにあたり、以下のとおり記念大会を開催いたします。組合青年部関係者はもちろん、その他ご興味ある方も是非ご参加いただきますようお願いいたします。

開催概要

日 時 平成29年1月24日(火)

受付14時30分

☆記念式典 (15時～15時45分)

☆ビジネスプランコンテスト (15時55分～18時30分)

☆交流懇親会 (18時40分～20時15分)

場 所 岡山プラザホテル 延養の間

岡山市中区浜2-3-12

募集定員 100名程度

参加対象 組合青年部関係者及び親組合、事務局、青年部加入予定者、青年部の無い組合の若手経営者・後継者等、どなたでもご参加いただけます。

懇親会費 7,000円(お一人様・税込)

問合せ先 岡山県中小企業団体青年中央会事務局

担当：藤田、林

TEL:086・224・2245

申込方法 当会ホームページより申込書をダウンロードのうえ、メール又はFAXにてお申し込みください。

Web: fujita@okachu.or.jp

FAX: 086・262・4145

HP: http://www.okachu.or.jp/seichu/?p=1069

記念大会開催に向けて



岡山県中小企業団体青年中央会 会長

石井 貴朗 氏

(岡山県電気工事工業組合青年部会所属)

本年5月の通常総会より会長を務めさせて頂いております石井です。

まず、本会が昭和52年1月20日の創設以来順調に発展し、創立40周年を迎えることが出来ますのは、ひとえに歴代会長及び役員の方のご苦労、また会員の皆様方の温かいご支援とご協力の賜であります。心より感謝申し上げます。

さて、今回開催致します記念大会ではビジネスプランコンテストの実施を予定しております。当コンテストは、ビジネスプランの作成・発表を通して、経営理論について学ぶ機会とすることを目的としており、また今年度実施して参りましたビジネススクールで得た知識の発表の場でもあります。

当会では、今後も会員の皆様のお役にたてるよう、ビジネススクール等の事業をブラッシュアップしながら実施していきたいと考えております。当会の活動を知っていただくためにも、是非、皆様の記念大会へのご参加をお待ちしております。

若手経営者は今

青年部の活動を追う

「時代に応じて、働く環境を変化させていく」

岡山市管工設備協同組合 青年部副部長(株式会社大設工業代表取締役) 高崎 哲氏

岡山市管工設備協同組合は、道路や住宅の水道修繕工事等に取り組み組合員91名で構成されている組合です。組合員企業は、岡山市水道局の指定工事店として、当番制で24時間体制のもと町の水道を守り、「安心・安全」な水を供給しています。今年度4月に発生した熊本・大分

上がった餅は参加された方々へ無料で配布しています。いずれも10年程前から携わっており、市民に対して当組合の活動についての理解を深めてもらえるよう、若手として活気ある取り組みを行っています。

地震の際には、岡山市水道局職員と合同の復旧隊を編成して、漏水調査や配水管、給水管の応急復旧活動を行う部隊を派遣しました。

当組合の青年部副部長であり、株式会社大設工業代表取締役の高崎氏に、自社の取り組みや、管工事業界の現状と今後について伺いました。

● ● ●

当組合は、毎年行われる岡山市水道局主催の防災訓練や水道フェアに携わっており、青年部を中心に取り組んでいます。防災訓練では、水道トラブルの通報を受けてから現場へ向かって修繕作業を行うという一連の流れを演習し、ライン早期復旧活動について参加された方々に周知しています。また、水道に対して親しみを持ってもらう目的で開催されている水道フェアでは、管工事

管工事業界だけでなく、建設業界全体的に人材不足となっているのが現状です。この現状を打破すべく各社様々な取り組みを行っている中で、弊社大設工業では、社員一人一人を大切に仕事とプライベートとの両立を図れるような環境作りを行っています。こうした取り組みが評価され、岡山市内企業等での女性の活躍推進及び仕事と家庭の両立支援など、職場における男女共同参画を推進している事業所として、岡山市より



青年部副部長 高崎 哲氏

「女性が輝く男女共同参画推進事業所」に認証されました。この認証制度によって女性が働きやすい職場は男性も同様であることをPRし、採用活動には多くの方が来社して、認証制度の効果を実感しました。

人材不足は新卒等の若者の就職率減少もあり、その理由の一つに、業界的に祝祭日や土日の出勤が多いことが、少なからず関わっていると考えています。今の若者が就職活動を行う条件として、週

末は休み平日は働くスタイルである、プライベートとの両立・休日の確保が重視されています。そのため、休日を確保したい若者のニーズと合わず、就職活動時の選択肢から外れてしまう対象となりかねません。

一部の企業が祝祭日や土日を休みとしても、建設業には様々な業種があるため、各企業の都合が合わず現場作業が滞ってしまいます。そのため、業界全体で働く環境を変化させていく必要があると考えています。

管工事業界は昔に比べ、道具や材料の発達により、経験や年数を積んだ技術職人だけでなく、若手も現場で活躍する事が出来るようになりました。そうしたハードが整ってきている中、今後はソフト面において、時代に合わせた環境の変化が求められます

(組織支援課 吉尾)

がんばるものづくり企業 有限会社アンジェ

チョコレート市場参入と生産性向上による取り組みで更なる安心安全の提供を目指す

岡山県津山市にある有限会社アンジェは、地元素材にこだわって「自分たちの目に見える範囲で食材が揃うこと」を軸にして、食の安心・安全を基本にお客様へ商品を提供しています。昨今、チョコレート商品の顧客需要が多様化している中、現状の手作業によるチョコレート商品製造では対応が困難なため、平成26年度補正ものづくり補助金を活用し、チョコレート製造機器と自動包装機を導入して、チョコレート市場への本格参入や機械化による作業効率化、売上高の向上を図りました。その背景や取り組み内容について代表取締役の山本氏にお話を伺いました。

チョコレート市場参入のきっかけ

近年、食品の安全が注目されている中で、弊社は地元食材にこだわった商品提供を行っており、津山産小麦を100%使った焼き菓子や津山ロールなど、国産材料の使用を明確化して安心・安全を基本にお客様へ商品を提供しています。そうした取り組みにより、徐々に全国各地の方々へ地元食材を利用した商品が認められるようになりました。

中でも焼き菓子は特に人気で、地元食材を使用した特色ある焼き菓子を、より高品質な状態でお客様の元へ届けたいと



代表取締役 山本隆之氏



店内の様子



自動包装機と山本氏

いう想いから、チョコレートコーティングを施した商品の開発に至ります。チョコレートは消費者からの需要も高く、焼き菓子をチョコレートで覆うことで空気が遮断して酸化を遅らせ、品質劣化を防ぐ効果があることから、チョコレート市場参入に取り組みることとなりました。

自動化機器導入に至るまでに

従来はバレンタインデー時期のみ、チョコレート系商品は人気でありました。チョコレート系商品は人気である一方、温度調整作業等に時間と人手が掛かります。人手では一度に少量のチョコレートしか作る事が出来ず、温度調整の難しい夏場を避ける等時期的な考慮もあり、通年での製造は難しい状態でした。そこで、

チョコレート製造機器の導入に至ります。今回導入した機械は、従来と比べると10倍以上の生産力を発揮する事が可能で、一度に大量のチョコレートを作ることが出来ます。人手が掛かっていた作業を機械化する事により、品質向上などに注力出来るようになり、更にチョコレート製造量が増えるため、従来まで他社から仕入れていた装飾チョコレートも自社製造が可能となり、大幅なコスト削減も実現できます。

また、焼き菓子など個別に包装する商品は、袋に詰め、内容表示のシールを貼り、綴じるといった一連の作業を全て人手で行っていたため、同じく導入した自動包装機による機械化で、商品封入作業に掛かっていた人手を品質向上に向けて

事が可能となります。

今後について

人手と時間が必要となる作業工程が自動化されたことにより、手間が掛かるため淘汰してきたアイデアを拾い上げた商品の開発が出来るようになる他、品質向上に注力することが可能となりました。そのために、まずは導入した機械の得手不得手を判断し、使いこなすことが課題です。また、更なる販路開拓にも力を注いで行きたいと思えます。

美味しく、かつ保存性の高い商品を作る事は非常に難しいため、徹底した作業効率化により良品質の商品作りを安定させる事で、お客様に安心安全を提供し続けていきます。

企業データ

有限会社アンジェ
 代表取締役 山本隆之氏
 所在地：岡山県津山市山北400番地の4
 資本金：300万円
 業種：洋菓子製造小売
 TEL：0868・22・1819
 H P：http://ange-cake.com/

(組織支援課 吉尾)



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

ホームページアドレス (<http://www.jeed.or.jp/>)

65歳超雇用推進助成金のご案内

趣旨・目的

「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)において、65歳以降の継続雇用延長や65歳までの定年延長を行う企業等に対する**支援の実施が盛り込まれたことを受け、当助成金を創設し**、65歳以上への定年引上げ等を行う企業に対して重点的に支援を行うことで、65歳以降も希望者全員が安心して働ける雇用基盤を整備するとともに「生涯現役社会」の構築を図ります。

概要

助成金制度の施行日(平成28年10月19日)以降に労働協約又は就業規則に以下の制度を規定し、制度を実施した場合に助成します。支給要件を満たせば、組合も対象となります。(1事業主につき1回限り)

	導入する制度	助成額
①	65歳への定年引上げ	100万円
②	66歳以上への定年引上げ又は定年の定め廃止	120万円
③	希望者全員を66～69歳まで継続雇用する制度の導入	60万円
④	希望者全員を70歳以上まで継続雇用する制度の導入	80万円

※①～④の複数の制度を合わせて導入した場合は最も高い額のみを支給となります。

【主な支給要件】

- 導入する制度の施行日から起算して1年前の日から支給申請日の前日までの間に、高齡法第8条、9条1項のいずれの規定にも違反していないこと。
- 定年の引上げ等の実施に対して、専門家への委託費等の経費の支出があること。
- 支給申請日の前日において、申請事業主に1年以上継続して雇用されている60歳以上の雇用保険被保険者(定年の引上げ等を行う労働協約又は就業規則により、高年齢者雇用確保措置の適用を受け雇用されている者に限る)が1人以上いること。
- 定年の引上げに関して、過去に高年齢者雇用安定助成金の支給を受けていないこと。
- 労働基準監督署に就業規則を届け出ていること。

【支給申請】

- 上記制度を実施した日の翌日から起算して2か月以内

※事前の計画の認定は不要です。

助成金の受給に当たっては一定要件がありますので詳しい内容は、**独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山支部高齢・障害者業務課**にお問い合わせください！

当機構のホームページ (<http://www.jeed.or.jp/>) でもご案内しています。

岡山支部高齢・障害者業務課

所在地：岡山市北区田中580 岡山職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岡山3階）

電話：086-241-0166

情報連絡員レポート

9月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全体		-21.1		-24.6		-24.6
製造業		-21.4		-3.6		-14.3
非製造業		-20.7		-44.8		-34.5



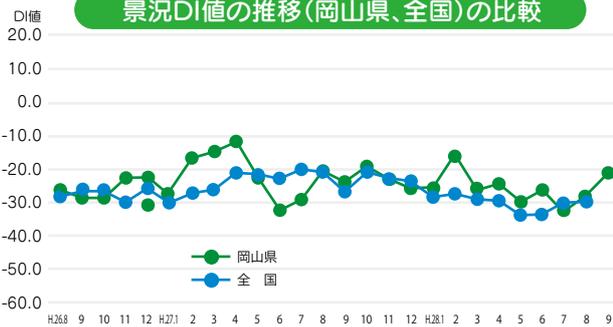
増加・上昇・好転
 変わらず
 減少・下落・悪化

(注)DIとは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業種	業種	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
食料品	味噌									
	米菓									
	豆腐									
	醤油									
	酒造									
繊維工業	繊維業・井原									
	繊維業・県									
	アパレル・県									
	アパレル・津山									
木材・木製品	製材・県									
	合板									
印刷	出版・印刷									
	製本									
化学・ゴム	ゴム									
	プラスチック製品									
窯業・土石製品	生コンクリート									
	石灰									
	ブロック									
鉄鋼・金属	鋳物									
	鉄鋼									
一般機器	機械器具・東岡山									
	鉄工・津山									
	鉄工・岡山									
	工作機械・総社									
	工作機械・井笠									
	工作機械・英田									
輸送機器	造船関連									
	自動車									
その他	畳									

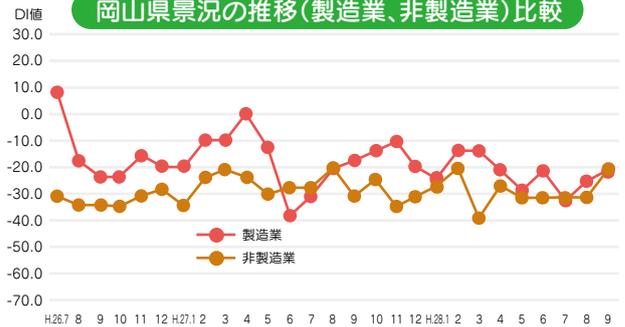
業種	業種	前年同月比							
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具								
	電設資材								
	青果								
	木材								
小売業	資材								
	石油								
	青果食品								
	中古自動車								
商店街	自動二輪								
	家具								
	商店街・岡山								
	商店街・津山								
サービス業	商店街・倉敷								
	自動車整備								
	建築設計								
	旅館・ホテル								
建設業	電飾・看板業								
	クリーニング								
	リサイクル								
	住宅リフォーム								
運輸業	左官								
	土木工事								
	管工事								
	防水工事								
その他	バス								
	タクシー								
	トラック								
倉庫業									
信用組合									

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の8月の景況は、前月対比+0.5ポイントDI値が改善し-30.0ポイントとなった。企業収益は底堅さを維持、景況感は総じて横這い圏で推移している。一方、個人消費は夏場の天候不順が消費下押し。また、株価の伸び悩みによる投資資産の目減りに加え、税・社会保障料等の増加が消費抑制に作用しているように窺える。先行きは、円高や海外経済などの影響を受けるものの、公共投資の進捗などを支えに緩やかに持ち直すともみられる。
- 県内の景況DI値は、前月対比+5.5ポイント改善の-21.1ポイントと連月の改善を見た。DI値の内訳は、製造業が前月比+4.5ポイント改善し-21.4ポイント、非製造業が前月比+10.3ポイント改善し-20.7ポイントといずれも好転した。また、景況DI値の前年比も+3.0の改善となっている。先行きの見通しは、長引く内需低迷と円高などを背景に変動はあるものの、緩やかに持ち直すものとみられる。

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況は、前月比+4.5改善し-21.4ポイントとなった。DI値内容をみると、売上高が+29.7の-3.6ポイント、収益状況が+15.3の-14.3ポイント、雇用人員が+10.7の10.7ポイント、設備操業度が+7.7の-7.1ポイントと大幅に好転した。景気動向は僅かながらも連月改善をみており持ち直し基調にあるが、円高の影響を心配する声も多くあり、先行き不透明と感じられる。
- 非製造業の景況は、前月比+10.3改善し-20.7ポイントとなった。DI値内容は、8月に大きく悪化した売上高が+10.4改善し-44.8、在庫数が+23.1の-15.4ポイント、販売価格が+17.2の3.4ポイントと改善し景況感を押し上げた。9月は天候不順のため集客・売上に影響した。また、一部業種によると人手不足が収益向上に影響している。先行きは、引き続き緩やかな景気持ち直し基調にあると感じられる。

製造業

食料品

- 天候不順の為か、来店客数が減少している。大手スーパーマーケットの撤退による影響が大きい。 《米業》

繊維・同製品

- 国内販売については百貨店の不振、輸出に関しては円高でよくない状況が続いている。 《織物業・井原》

木材・木製品

- 出材期を迎えたこともあり、原木の出材量は増加傾向で、品薄感が緩和され、相場も落ち着いている。なお、小径木は引き続きバイオマス発電等の燃料用として安定的に引き合いがある。製材品は需要がいま一つであるが、住宅着工は堅調に推移していることから、今後、需要の拡大が期待されるものの、集成材へのシフト、円高の進行による外材との競合に先安感が強まるなど、先行き不透明感が強い。 《製材・県》
- 木材加工製品販売は公共事業を中心としてやや増加した。しかし、県内ではなく県外への販売増であった。木材製品売上前年対比100%、木材製品売上同月対比133%。仕入れ原木価格は出材が減少傾向で、小径木価格は値上がりした。しかし、柱口は値下がり傾向となっている。小径木仕入れ価格(和~14cm/3m) 9,000~9,500円/m²、柱口(和16~18cm/3m)18,000~20,000円/m² 《合板》

印刷

- 前年と比較して売上高は厳しい状況であるが、印刷資材の価格が安定しており、収益面では少し改善傾向にある。 《出版・印刷》

化学・ゴム

- 今年3月ごろから、為替レートが現在1ドル100円台で2割ほど円高に進み、輸出関連企業の業績が悪化傾向にあるため、受注が伸び悩んでいる。原料価格は、低水準で推移しているが、ここに来てカーボン類が少し値上げ傾向にある。 《ゴム》

窯業・土石製品

- 売上、操業度ともに微増。業況に特別な変化なし。 《ブロック》

一般機器

- 人員確保が難しく新規受注に対応できない。離職防止の為、人件費上昇による収益悪化。 《機械器具・東岡山》
- 前月との比較では企業間にばらつきはあるものの、ほぼ横ばいの状況である。 《鉄工・岡山》
- 業種による差はあるが、受注(売上)・収益ともに対前年比でほぼ横ばい。おおむね良好である。 《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保出来ており、売上増加傾向である。 《工作機械・井笠》

- 各社取り扱い製品により業況はまちまち。福祉用機器は高操業、他は全体として見通しは厳しい。 《工作機械・英田》

その他製造業

- 平年並み。雨の多さの為低調だが、多少動きはあるようだ。 《畳》

非製造業

卸売業

- 過当競争により利益率が低下、資材が確保しにくい状況。 《資材》

小売業

- 中間決算を迎えるが、業況は悪化したままである。組合主導で組合員と意見交換をしながら、制作した折り込みチラシによる売り上げが好調とのアンケート結果を受け、年末・年度末の折り込みチラシ制作に精力的に取り組んでいる。 《家具》

商店街

- 商店街の集客力低下。空き店舗の増加がかなり激しい。台風の影響で天候不順の為、アパレル製品の販売低下。 《商店街・岡山》
- 悪天候が影響し、客足がまばらである。 《商店街・津山》
- 9月前半は残暑が厳しく、後半は雨が降らない日がない程に天候が不安定であった為か、自転車で来る客が少なかったように感じる。 《商店街・倉敷》

サービス業

- このところ大型の物件の発注がなく、特に組合への発注数も激減している。価格についても競争が激しくなり、低価格での受注となり経営的にも大変困難となっている。 《建築設計》
- 前年に比べ寝具類等が増え、売上は微増したところが多い。天候不順でコインランドリーの売上も増えた。 《クリーニング》
- 鉄・非鉄では、国内スクラップ価格は市中のスクラップ発生量が少ないことから、9月に入り1,000円(TON当たり)値上がり(値戻し)した、輸出に関しては韓国・東南アジア向けが消極的で輸出価格はやや下落した。高炉メーカーは原料炭の急騰の影響からスクラップ購入を継続する方向にもある。古紙は、国内発生量も減少傾向が続き、中国への輸出も低調で新聞・雑誌・段ボールともやや下落した。 《リサイクル》

運輸業

- 集客状況は前年比80%、客単価は86%となった。去年はシルバーウィークが連続5連休であったが、今年は不連続となった為、全体的に低調な動きとなった。一方、ミステリーツアーや味覚狩りのプランに人気集中した。 《バス》
- 9月に入り、輸出関係の増加を感じるが、昨年レベルには達していない。全体的には荷動きは思わしくなく、生産はあるため倉庫スペースは不足気味。月中旬からシルバーウィーク前後は荷動きが集中、車両確保が厳しくなった。仮決算月であるが、月末の混乱はあまり見られなかった。依然として人員不足で雇用人数は減少傾向。 《倉庫業》

その他

- 地域の中小企業者の業況・動向等に大きな変化はない。景況感についても、先月と大きな変化はないが、公共工事の増加や求人増加などの面で期待感があると思われる。人手不足と円高が地場の中小零細企業には悪影響となっている模様。 《信用組合》

情報連絡員に聞く

岡山県製本工業組合
理事長 大谷博氏

岡山県製本工業組合は昭和46年に設立し、現在岡山県下の製本業者15社で構成される組合です。当組合の理事長であり、株式会社岡山みどり製本の代表取締役を務める大谷氏に製本業界の現状とこれからについて伺いました。

■製本業界の現状を教えてください

携帯電話や車の説明書、会社案内のパンフレット等の冊子を扱わなくなった企業が増えています。このような受注母体の減少により、印刷業界が縮小し、後工程である製本業界の縮小も進んでいるのが現状です。また、低コストの生産体制を構築する企業が増え、印刷業界では少しずつ内製化が進んでいます。製本業界はその影響も少なからず受けています。

都心部では製本業界の全盛期に1500社近くあった企業も、現在は半数近くまで減少。後継者不足等の問題も影響し、岡山県では組合発足当時30社前後あった組合員数も、現在では半分となりました。製本業者数は減少しているものの、岡山本社の大手教育出版企業であるベネッセコーポレーション関連の受注は大きく、岡山県製本業界は他県と比較しても大きな衰退は見られません。



大谷理事長

■力を入れている取り組みとは

当組合では今年から、製本業界のスキルアップを目的に、製本技能士の検定を行い始めました。本検定は当組合の他に、東京都製本工業組合が2年に1度行っています。元々、当組合でも20年程前に本検定を行っておりましたが、業界の衰退とともに停止状態にありました。この度、組合員企業からの要望があり、検定を行い始めるに至った次第です。

本検定は学科と実技の試験があります。学科試験は職業能力開発協会により問題が作成され、実技試験は当組合の役



「糊綴じ」により一部のページが縦開きの冊子

員や1級製本技能士ら3人により審査を行っています。また、当組合の協賛企業である日宝総合製本株式会社や東京都製本工業組合の協力のもと、実技試験場所や設備を借りて技能試験の実施が実現しています。

製本工程は機械による製品への損傷等、ミス発生確率がゼロではありません。当組合では全日本製本工業組合連合会によるトラブル対策事例の共有を受け、それを元に組合員への事前対策を推奨しております。品質強化に繋がる取り組みも行っております。本検定での資格取得により製

本企業的能力、そして生産性の向上も見込まれるため、製本業界のレベルアップにも繋がっていかばといった想いがあります。

■業界の今後を教えてください

企業としては、他社との差別化をはかるべく、自社の特色を出していく事が必要だと考えています。例えば、弊社岡山みどり製本では、週刊誌等によく見るホッチキス綴じの「中綴じ」と呼ばれる製本の他、「糊綴じ」と呼ばれるホッチキスを使用しない製本方法でも冊子を作成しています。金具の使用をしていないため、再生や安全という観点での需要に対応することが可能となります。また、横開きの冊子の一部を縦に開く、特殊な冊子を作成する事も出来ます。製本業界は印刷業界有つてのものですが、消費者に直接PR出来るような特徴ある製品を作り出す事が、生き残っていくためには必要です。

これらを踏まえ、組合としては柔軟な発想の若手の声を活かしながら、製本業者の技術を最大限に活かした他の業界には無い独自の製品を作る等、新しいものを産み出してこれからの業界発展に寄与していきたいと考えています。

(組織支援課 吉尾)

就実大学
経営学部
課外講義

岡山の地域の中小企業のブランド化のために

第3回

マーケティング・リサーチとブランド化



就実大学経営学部教授
野本 明成 氏

【プロフィール】

大阪大学経済学部卒業。大阪大学大学院経済学研究科博士(後期)課程単位取得退学。滋賀大学助手(経済学部)就任、講師、助教授、教授。就実大学教授(経営学部)就任。研究領域は主にマーケティング・リサーチ、技術経営、新製品開発。

マーケティング・リサーチとは

マーケティング・リサーチの目的は、顧客や社会環境の変化を敏感にキャッチし、顧客に受け入れられる商品・サービス開発等、マーケティングに関わる多様な問題について解決の方向を示すことです。その手順としては、第一に問題の明確化と状況分析を行います。そこでは、解決すべき問題を取り巻く状況の分析、例えば日本の場合には人口減少、少子高齢化、経済成長の鈍化、ITの普及やロボット技術等の技術力の向上等の背景のもとに、顧客の欲求が大きく変化する中で、自社の商品の今後の向かうべき方向など、調査すべき課題が何であるかを明らかにします。第二に、どのような方法を用いて、どのような対象に、いつ調査を行うかを決めます。たとえば、郵送調査を使用して、最近1年以内にある製品を購入した人を対象に調査を行

います。第三に、調査に基づいてデータの収集と分析を行います。その結果に基づいて今後の方向性を決定することになります。

マーケティング・リサーチのブランド化への貢献

商品・サービスが市場に導入されてから一定期間を経ると、ブランド・マネジメントのために「ブランド・イメージ調査」や「ブランド・ポジショニング調査」など、ブランドに関する調査が行われます。さらに、「ブランド拡張のための調査」、「ブランド再構築のための調査」も行われます。

これらの調査の目的の一つとして、特定の製品のブランド・イメージとポジショニングの明確化、およびその製品の強み・弱みを明らかにし、今後のブランドの育成方向を見出すという課題のもとに、自社ブランドおよび競合他社ブランドのブ

ランド・イメージ調査や顧客満足度調査が行われ、それらの調査結果を使用して自社ブランドおよび競合他社ブランドのブランド・イメージやプロダクト・イメージが明らかにされます。

それらの調査結果に基づいてさらに分析が行われ、自社ブランドと競合他社のブランドのブランド・イメージ上の差異が明らかにされます。

それらの結果を用いて、自社ブランドの強みを活かすとともに、自社ブランドの弱みを改善・強化し、自社ブランドの向う方向を決定するブランド戦略の再構築が行われます。

ここではブランドの再構築についての説明がなされましたが、マーケティング・リサーチは、商品・サービス開発を行う際に、顧客がその商品やサービスから得られるベネフィットのうち、どのベネフィットをどの程度望んでいるのかを調

査・分析から得ることにより、顧客にとってより最適な商品・サービスを構築することも可能です。また、顧客のニーズを的確に把握し顧客との継続的な関係を維持する戦略にも使われます。

参考文献

- (1) 太田黒夏生『マーケティング・リサーチ入門第2版』日経文庫、1997年。
- (2) コトラ・ケラー『マーケティング・マネジメント第12版』丸善出版、2014年。
- (3) 近藤光男・小田宣夫『マーケティング・リサーチの実際』日経文庫、2004年。

掲示板

■ものづくり補助金事業

成果事例発表会・講演会・交流会

日時 平成28年11月2日(水)14時～19時
場所 ホテルメルパルク岡山

■職場における心と体の健康管理セミナー

日時 平成28年11月16日(水)15時～17時
場所 サンピーチOKAYAMA
3F.ピーチホール

■岡山県中央会第2回役員会

日時 平成28年11月24日(木)15時～18時30分
場所 岡山プラザホテル

■中小企業組合検定試験

日時 平成28年12月4日(日)10時～16時
場所 岡山県中小企業団体中央会会議室

共済業務委託制度活用のおすすめ

組合・自己財源確保のため

当会が実施している「共済制度」の普及・促進等のご協力をいただける組合様を募集しています。又、業務委託契約を結び、組合・組合員の役員の方がご成約いただければ紹介料をお支払いします。当会HPをご覧ください。問い合わせは総務企画課まで。



日本語作文コンクールで「優秀賞」受賞

西日本流通サービス協同組合(総社市)所属のグエンテイタオさんが国際研修協力機構(JITCO)主催の第24回外国人技能実習生日本語作文コンクールで優秀賞を受賞しました。コンクールは全国から1,937編の応募があり「最優秀賞」4編「優秀賞」4編「優良賞」19編「佳作」21編が選ばれました。

作品のタイトルは「日本のお母さん」。日本でホームシックにかかりベトナムの母親を思い涙していた頃、同じ職場の人が母親のように優しく接してくれ、日本語がうまく話せず買い物に行くこともできなかった時、車で様々な場所に連れて行ってもらったそうです。ベトナムでは成人は18歳だそうです。20歳になったときに日本の成人式に振袖を着せてもらい、式典に連れて行ってもらったことを臨場感あふれる表現で描いていました。

受賞者氏名 グエン ティ タオ

技能実習職種 ハム・ソーセージ・ベーコン製造

技能実習生協同団体 西日本流通サービス協同組合



あなたの会社の福利厚生をバックアップ

ときめきプラザ

給付金/助成金/提携施設/イベント補助など
社員の福利厚生への制度導入、充実に!!

一般財団法人 **岡山市勤労者サポートプラザ**

〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 岡山市勤労者福祉センター1F

☎086-223-6364 Fax.086-223-6384

http://www.tokimekiplaza.jp info@tokimekiplaza.jp

会費 500円/月

岡山労働局からのお知らせ

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です。

平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」において、11月は「過労死等防止啓発月間」とされています。このため、厚生労働省では、同月間において、過労死等の一つの要因である長時間労働の削減等、過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発等の取り組みを行う「過重労働解消キャンペーン」を実施します。

過重労働による健康障害を防止するために

●時間外・休日労働時間を削減しましょう

- 36協定で定める延長時間は、限度基準に適合したものとする必要があります。
- 特別条項付き協定により月45時間を超える時間外労働が可能な場合にも、実際の時間外労働は月45時間以下とするよう努めましょう。
- 休日労働についても削減に努めましょう。

●年次有給休暇の取得を促進しましょう

- 年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくり、計画的付与制度の活用などにより、年次有給休暇の取得促進をはかりましょう。

●労働者の健康管理に係る措置を徹底しましょう

- 健康管理体制を整備するとともに、健康診断を実施しましょう。
- 長時間にわたる時間外・休日労働を行った労働者に対する面接指導を実施しましょう。

過重労働による健康障害を防止するために

- ①職場風土を改革しましょう。
- ②適正に労働時間の管理を行うためのシステムを整備しましょう。
- ③労働時間を適正に把握するための責任体制を明確化しチェック体制を整備しましょう。

キャンペーンに関するお問い合わせは、岡山労働局労働基準部監督課まで (☎: 086-225-2015)

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 講師 古川愛子の

健康と若さを保つ食生活を目指そう！

料理名 エスニック風チキンカツ

岡山パクチーを使ったドレッシングでお肉とパン粉に下味をつけることで、鶏肉の旨味とパクチーの香りでどンドン食が進みます。揚げずにオーブンをすることで脂質を抑えています。

●材料 (一人前) ●

- 鶏ムネ肉: 80g
- B パクチードレッシング 25g
- A パクチードレッシング 5g
- 小麦粉: 5g
- パン粉: 50g
- 卵: 5g

《作り方》

- ① 鶏肉の皮にフォークで穴を開け、一口大に切り分る。
- ② ビニール袋に①とAを入れ揉み込み、下味つける。
- ③ パン粉にBをかけ馴染ませる。
- ④ ②の鶏肉に小麦粉→溶き卵→③のパン粉の順につけ、天板に並べる。
- ⑤ 180℃のオーブンで約20分焼く。

私たちが考えました!



人間栄養学科 3年生

(左から) 風川怜那、岡上愛、新田彩楓、山本早奈恵

栄養価 (一人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質
330kcal	27.9g	5.5g
炭水化物	食塩相当量	
40.4g	2.9g	



今回は、とら醤油味より、パクチーの香りと岡山パクチーならではのマイルドな味わいが楽しめる醤油ベースのアジアン風味「パクチードレッシング」をいただいております。

編集後記

備前焼まつりに行ってきました。20年程前、親と行った記憶があります。普段は見ない焼き物がたくさん並び目の前の様子がとても印象強く、不思議な事に今でも鮮明に覚えています。ただ、思い出す景色は全て低い位置からの目線。大人になってから訪れた備前焼まつりは別世界の様で、新鮮な気持ちになりました。取材の記念に、ピアカップを購入しました。

岡山県民ならご存知のとおり、備前焼は表面のザラザラによりビールの泡が立ちやすく消えにくい。ガラス質加工ではないため、保冷保温効果が高い等の理由から、備前焼ビールを飲むととっても美味しいのです。上唇に白髭を付けて、美味しそうに唸っていた親父を思い出します。冬目前ですが、当面お風呂上がりにはコイツにお世話になりたいと思います。

(古川)

ポクはしんぱん士 たしまうし平



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

- 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱[※](月払)の場合、一般扱(口座振替月払等)で
ご契約いただくよりも、保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどの
リスクをカバーする保険です。

- 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>